

第7回 教育ITソリューションEXPO

「平山小学校」と「ICT活用教育推進室長」が 登壇！

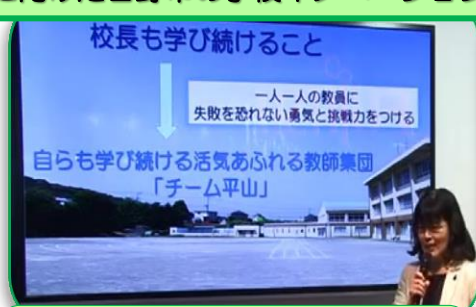
2016年5月18日(水)～20日(金) 東京ビッグサイトにおいて「第7回教育ITソリューションEXPO」が開催され、会場は多くの学校・教育関係者で大変な熱気に包まれました。

そのような中、平山小学校の先生方は3日間、会場で授業実践を紹介され、最終日の20日には「次世代型学びに向けた日野市の学校イノベーションマネジメント」というタイトルで、平山小学校の五十嵐俊子校長先生とICT活用教育推進室長が講演を行いました。

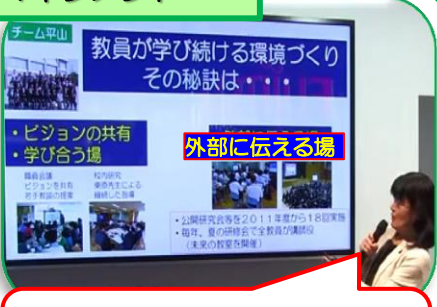
次世代型学びに向けた日野市の学校イノベーションマネジメント



日野市がどのようにICTを推進してきたのか、10年間の歩みと「ICT活用教育推進室」の役割について語る小林室長



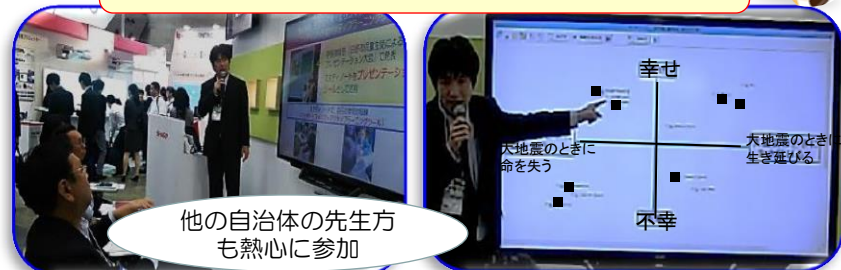
「学校イノベーションマネジメント」とは、校長が学び続け、教員が学び続ける環境をつくることだと語られる五十嵐校長先生



教員が学び続ける環境づくりの秘訣は、研修講師や公開研究会などの「外部に伝える場」です！

折茂先生によるスタディノートの模擬授業

メディアコーディネーターも「生きぬく科」の授業を受ける子供の気持ちで模擬授業の「生徒」になりました！



他の自治体の先生方も熱心に参加

まず、「災害時に、動物園の動物は幸福か不幸か」というテーマで、各自のタブレットPCで意見を書きました。

次に「大地震のときに生き延びる」「大地震のときに命を失う」という横軸と「幸せ」「不幸」という縦軸がかかれた「思考マップ」で、自分の考えはどのあたりになるかを考えて置きます。

他の人の意見を読んだり、コメントを書くこともでき、他の人の考えを知ったことで、思考マップ上での自分の考えの位置が変化した人は場所を動かしました。

短時間の授業でしたが、同じ問いに対していろいろな考え方が出てくるのだとしみじみ思いました。また、自分の考えに対して、コメントを書いてもらうこと、特に賛成だを書いてもらうことはとても嬉しい！という子供たちの気持ちが実感できました！

実践報告



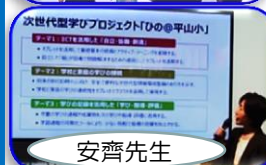
インテラティブスタディにおいて、子供たちの学習状況を正確に把握することが大切だと説明される木部先生



相馬先生



鈴木あや先生



安齊先生



本地先生

授業実践を紹介しながら「次世代型学び」について説明をされる先生方